

開講科目名 Course	民法研究（Ａ）／Civil Law（Ａ）
時間割コード Course Code	13140
開講所属 Course Offered by	法学研究科修士課程／
開始年度・学期 Start Year・Semester	2022年度／Academic Year 前期
曜限 Day, Period	他 1
開講区分 semester offered	前期／.
単位数 Credits	2.0
学年 Year	1,2,3,4
主担当教員 Main Instructor	早川 結人
科目区分 Course Group	企業関係法科目群
教室 Classroom	オンライン授業
講義形式 Lecture Style	講義科目
担当教員名 Instructor （担当教員所属名 Affiliation）	早川 結人（法学部）
授業の目標	本講義は、民法、とりわけ財産関係を規律する財産法を対象とする。 財産法に関する基本的な原理や制度の理解を獲得することを第一の目的とする。 また、民事における紛争解決に対する理解の習得を通じて、広い意味での問題解決能力や分析力・判断力、解決に至る思考力や、これを実現するだけの論理的な展開力を獲得する。
授業の概要	財産法（主に、民法総則・物権）領域の重要な論点を取り上げて検討する。民法の基礎理論を確認し、判例・事例研究を行うことで実務対応能力を身につけることを目的とする。 授業は非対面のオンデマンド方式によって実施する。 この講義は、後期に開講される民法研究（Ｂ）と合わせて、民法（財産法）の全領域をカバーするものである。そのため、両者を合わせて受講することを推奨する。
評価方法	授業への参加状況および各回における課題によって評価する。
教員の指導に従わない以外の事由による失格基準	欠席５回以上で失格とする。
授業計画	【授業計画】 第1回 ガイダンス・民法とは 第2回 権利能力・意思能力・行為能力 第3回 法律行為 第4回 法律行為 第5回 代理制度 第6回 無権代理・表見代理 第7回 無効と取消し、条件と期限 第8回 時効 第9回 物権とは何か、物権的請求権 第10回 不動産物権変動 第11回 動産物権変動 第12回 所有権 第13回 約定担保物権 第14回 法定担保物権 第15回 まとめと総合演習
テキスト	松久三四彦他『オリエンテーション民法』（有斐閣、初版、2018年） ただし、改訂の可能性があるので購入のタイミングには注意すること。
参考書	道垣内弘人『リーガルベシス民法入門』（日本経済新聞社、第3版、2019年）
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	含まない
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	

実務経験のある担当教員による授業	該当しない
担当教員の実務経験を活かした授業の内容	
質問への対応方法	随時対応する。 必要に応じて、個別にメールでの対応も受け付ける。
フィードバックの方法	オンデマンド方式により、随時、実施する。
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	この授業は、後期開講の「民法研究（Ｂ）」と合わせて、僅か4単位で、民法（財産法）を扱うものである。時間の関係上、授業中に、前提知識を伝えることや振り返りを行うことはできない。授業は、予習及び復習がなされていることを前提に進行する。各授業ごとに、予習及び復習には、それぞれ2時間ずつを必要とする。
使用言語	日本語
SDGs 17の目標（１～１０）	
SDGs 17の目標（１１～１７）	
PROGリテラシーの要素	
PROGコンピテンシーの要素	